

# 社協の輪

2024  
4-5  
No.213

新学期からも  
がんばるぞ!!




▲児童クラブ大野(学童保育)

## LINE UP

- 令和6年度 事業計画・予算
- 職員体制
- 「ふくし」の人リレーコラム
- 地域福祉フォーラム2024開催
- 兵庫DWATへの職員派遣



洲本市社協  
キャラクター  
「みっくまん」

 この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

市内各種団体代表などから構成する理事会及び評議員会にて、令和6年度の事業計画と予算が承認されました。

## 1. 地域福祉の「人づくり」

### (1)意識作り

- ①PR事業
- ②社協会長表彰事業の推進
- ③当事者理解の推進
- ④福祉学習・世代間交流の推進

### (2)担い手づくり

- ①小地域福祉活動の推進
- ②各種養成講座・研修会・交流会の推進
- ③ボランティア及びボランティアグループへの支援
- ④五色支部福祉推進委員会の推進

## 2. 人と人との「つながりづくり」

### (1)住民同士の交流の場づくり

- ①地域拠点型サービスの開発・実施

### (2)当事者同士の分かち合いの場づくり

- ①当事者支援の推進
- ②子育て支援の推進

## 3. 連携・協働の「ネットワークづくり」

### (1)住民間のネットワークづくり

- ①小地域福祉ネットワークの推進
- ②災害時要援護者支援ネットワークの推進

### (2)専門職間のネットワークづくり

- ①各種連絡会への参画
- ②社会福祉法人連絡協議会との連携・協働
- ③全世代型の横断的なネットワークづくり

## 4. 総合的な相談支援の「仕組みづくり」

### (1)総合的な福祉相談体制づくり

- ①心配ごと相談、ボランティア相談、介護相談、障がいに関する相談、権利擁護相談、不登校・ひきこもりに関する相談等の推進

### (3)地域包括ケアシステムづくり

- ①地域包括支援センターや生活支援コーディネーター、民生委員児童委員、地域団体等との連携促進

### (2)権利擁護支援体制づくり

- ①権利擁護デスク（法人後見等）の推進
- ②日常生活自立支援事業の推進

### (4)生活困窮にある方への支援体制づくり

- ①市福祉課との連携促進
- ②生活福祉資金貸付事業の推進
- ③フードドライブ運動の推進

## 社会福祉協議会の体制強化

### (1)社協事業の見える化

- ①情報発信の強化

### (2)経営基盤の強化

- ①理事会、評議員会、監事機能の強化
- ②財源の確保
- ③事業推進体制の強化
- ④介護保険事業等の実施

### (3)ニーズに応じたサービスの実施・見直し・開発

- ①地域活動支援貸出事業、福祉車両貸出事業、在宅高齢者支援事業、配食サービス事業、会館管理事業等
- ②制度対象外の問題等ニーズに応じたサービスの開発・実施

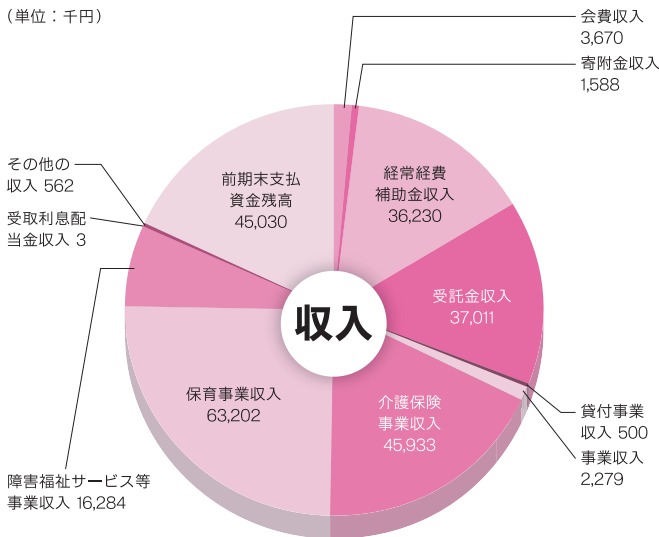
### (4)住民主体の社協づくり

- ①地域福祉推進計画の点検・評価・見直し
- ②地域福祉計画との連携強化
- ③災害支援体制の強化

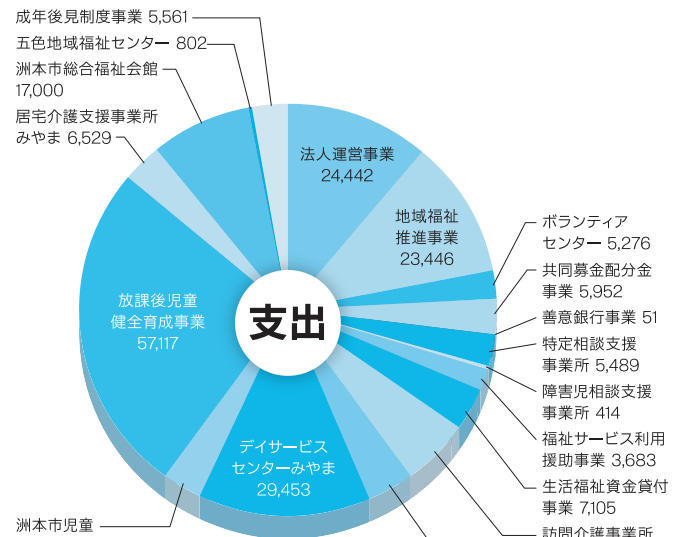
### (5)職員間の連携

- ①組織内での連携
- ②組織外との連携

(単位：千円)



収入 252,292千円



支出 217,578千円

令和6年度 洲本市社会福祉協議会 新事務局体制がスタート!

人事異動に伴い、新たな事務局体制がスタートしました。総勢68名の社協職員が、地域の皆さまと共に地域福祉を推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

洲本市社会福祉協議会 事務局体制

正 規：11名  
嘱 託：29名  
パート：28名  
計：68名  
(令和6年4月1日現在)

会 長 廣地 タマヘ  
副会長 小川 輝夫、赤松 正規

事務局 長 城田 知志

総務係長  
齋藤 啓介

地域福祉係長  
東 佑樹

介護保険事業係長  
河上 和弘

総合福祉会館

洲本市ボランティアセンター

訪問介護事業所

児童センター

権利擁護デスク

ひきこもりサポートセンターつぼみ

総 務

相談支援事業所

地域福祉センター

コミュニティワーカー

デイサービスセンターみやま

居宅介護支援事業所みやま

本部・洲本支部

五色支部長  
東 佑樹

「ふくし」の人  
リレーコラム⑥

市内の社会福祉法人で活躍している「ふくし」の人をリレー方式で紹介していきます。

共催：ほっとかへんネット洲本  
(洲本市社会福祉法人連絡協議会)

私は、高校卒業後、淡路島に戻って来ました。特に何をしたいのか分からず色々な社会経験をしている中で、知り合いの方に福祉の仕事はどうか?と声がかかったことがきっかけで福祉の道へ進みました。特別養護老人ホームから始まり、同法人内での異動で通所のデイサービスや障害者施設等、長年に渡り経験を積んできました。

20歳代の時にはあまり認知症への理解ができていないまま対応をしていましたが、研修に参加させていただいたことで理解し、苦戦しながらも



利用者さんが笑顔で喜んでいる姿を見てすごくやりがいのある仕事だと思いました。また、利

用者さんのご家族と関わる機会も多く、ご家族の大変さを理解した上で、施設職員全員でその人らしく生活できるのかを考え、対応することで失敗や成功を繰り返すことで自信につながっていく仕事をさせていただいています。

高齢者福祉にも長年、関わっていましたが、今は障害者の方への支援方法を学んでいる最中です。関わり方も違い、難しいことがたくさんありますが、利用者やご家族と向き合い、お互いに協力できることを目標にし、今後もより良い支援を他の職員と共に考えていきます。

これからも利用者さんが楽しく過ごせるよう福祉を学び続けていきたいと思っています。

社会福祉法人 淡鳳会  
フローラすもと 生活介護・サービス管理責任者  
花崎 八智代(介護福祉士)

## 兵庫DWATへの職員派遣

3月20日から24日にかけて、洲本市から2名（社会福祉法人いちえ福祉会、洲本市社会福祉協議会から1名ずつ）が兵庫DWAT（災害派遣福祉チーム）として石川県庁に派遣され、DWAT本部事務局の支援や避難所巡回等に従事しました。

DWATは、都道府県単位で設置されており、石川県内の避難所等で活動が行われています。



## 地域福祉フォーラム2024開催

3月9日、「地域福祉フォーラム2024」が開催され、100名の参加がありました。前半は兵庫県精神保健福祉センターの中谷恭子氏より『生きづらさを生きていく～ひとりで抱え込まないで～』をテーマにご講演いただき、後半は松本守史氏（森の木ファーム株式会社）、鹿内和朗氏（株式会社シマトワークス）を交えてパネルディスカッションを行いました。

1人1人が支え認め合うことで生きやすい社会を築けることを学ぶ貴重な場となりました。



### 総合相談

- 心配ごと（何でも相談）、ボランティア、介護、権利擁護、障がい、不登校・ひきこもり相談（常設）月～金曜日 9時～17時

### 認知症を支える

- オレンジカフェ「やすらぎ学園」  
毎月第1・3金曜日 10時～15時@やまて会館
- 家族の会「ごしきの会」  
毎月第2火曜日 13時半～15時半@みやまホール

### ひきこもりサポートセンター つぼみ

- 居場所「わかくさカフェ」  
毎週金曜日 10時～15時@やまて会館
- 家族の会「ハチドリの家」  
毎月第3金曜日 10時～11時半@やまて会館
- 家族の会「ヤング親の家」  
毎月第3火曜日 16時半～17時半@やまて会館

### まちの子育てひろば

- まちの子育てひろば  
毎月第2火曜日  
10時～11時半@やまて会館
- プレママ&ベビーくらぶ  
毎月第3火曜日 10時～11時半@やまて会館



Instagram

申込・問い合わせ先 洲本市社会福祉協議会（代表）☎26-0022

### 寄付のお礼 (R6.2.1～3.31・順不同)

【寄 付】	行政書士ふなせつよし事務所 様	3,000円	
	實生 明弘 様	100,000円	
【善意銀行】	●老人福祉のために	このゆびとーまれ淡路 様	3,600円
	●障害者福祉のために	小嶋 朝子 様	2,000円
	●子育て支援のために	表原 美知代 様	2,000円

編集・発行／社会福祉法人 洲本市社会福祉協議会

本部・洲本支部 〒656-0024 洲本市山手二丁目2-26 TEL.0799-26-0022 FAX.0799-26-0021  
五色支部 〒656-1334 洲本市五色町広石中90-5 TEL.0799-35-1166 FAX.0799-35-1167